

私達の会社には、正社員、パージーマン合わせて90名おります。今年中には95名に存ります。毎年10名以上増員して、2020年には、300名に存ります。今年の経営計画発表会で全社員に宣言しました。

大企業は利益が出ていても、「会社は株主のものなので株主価値を高くするため給料の高い社員が退職させ、人件費を下げ、過去最高の利益を出している所もあります。大企業が高額納税をしたり、大口の寄付等の社会貢献をいくつしても、リストラや仕入先、下請会社の犠牲による利益では、本当の社会貢献をしているとは言えないのでは無いでしょうか。本当の社会貢献とは、社員を守り、会社の従業員を増やすことだと思っています。 1人の社員を雇用すると、その家族まで生活でき、多くの消費が生まれ、幸せな人が増えます。解雇は逆に、多くの人を不幸にします。

会社の数は、約280万社ともいわれています。そのうち10人未満が82%、30人未満までで95%、100人未満の会社は、99.4%位だと云えます。労働者の80%位は、大企業、公務員以外の中小企業に勤めています。我々中小企業は、黒字では、リストラは社員を解雇することはありえません。中小企業経営者の多くが「会社は株主のものではなく、全従業員のもの」であるという意識でいるからです。経営に対する責任感と使命感は中小企業経営者のほうが高いのでは無いかと私は思っています。

古田土会計では、毎年全社員の約10%が辞めます。この10%は私は妥当な数字だと思っています。会社が成長すればするほど社員の退職者は増えていきます。お客様の会社をみても高成長、高利益の会社でも退職率は高いです。社員は会社というものを誤解して入って来て、理解して辞めて行くのでは無いかと思ってしまう。毎年10人以上増やすためには、退職者を計算すると、20名近く採用しなければなりません。

今年より、採用費は粗利益額の1%と決めました。年間約7.5百万円です。平成18年4月入社の新卒の採用も200万円の予算で会社説明会を2日に開き、5名に内定を出しました。内題は、中途採用です。リナビ、エンジヤパンは、1回50万~60万円かけていますが採用したい人材は、1人いるかいないかです。面接すると覇気が感じられない、就職しようとする強い意思が感じられない。何故、面接という短かい時間には自分をアピールできないのでしょうか。また、私達は、面接で挨拶、清掃、トイレ掃除、駅前清掃のことを話し、価値感が共有できるかどうか見ます。仕事は遅くまでかかり、5時退社はきつ旨も説明します。ますます入社希望者は少なくなりました。私は、社員を増やすことにおいて、社会貢献（たい）と思っています。その社員に人間性を高める教育をして、立派な日本人に育つてほしい日本が一番お客様が感謝される数の多い会計事務所にあることが夢です。